

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	薩摩川内市子ども発達支援センターつくし園（児童発達支援センター）		
○保護者評価実施期間	令和7年12月15日		～ 令和8年1月9日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	53 (回答者数)	44
○従業者評価実施期間	令和7年12月23日		～ 令和8年1月9日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	16 (回答者数)	16
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月14日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	「児童発達支援ガイドライン」に基づいた、遊びを通した個々の発達段階に応じた療育活動を行い、身辺自立等の発達を総合的に支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ・5領域をバランスよく取り入れた療育活動の策定 ・バス送迎や給食を取り入れた長時間療育による、生活支援や身辺自立支援の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門家による職員研修の充実（センター機能強化による他の事業所への研修機会の拡充） ・衣・食・住の身辺自立の更なる療育支援の充実と集団づくりによる個性の伸長の研究
2	子どもの個性を大切に、発達段階や個人の特性を考慮しながら、家族への継続的な支援を行い負担軽減を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援センター機能強化事業が中心となった保護者同士の交流や学びの場の設定 ・療育参観の実施による本園療育活動の理解促進と、面談による情報共有や協力態勢の構築 ・親子活動や家族参加行事の実施を通じた交流機会の設定 ・週報や月報及びHPやInstagramからの情報発信を通じた広報活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者交流会の設定機会の拡充（センター機能強化による他事業所保護者を含めた交流会の設定） ・保護者会組織（保護者会は令和6年度にて終了）の解散に伴う保護者会行事の園による運営の継続 ・HPやInstagramの作成及び更新
3	保育所等や小中学校及び理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・音楽療法士など、発達支援の専門家や関係機関とのネットワーク化を図り、地域資源を活用した社会的自立を目指した療育を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所等との定期的な連絡会の実施や小中学校との移行支援シートを活用した情報共有の場の設定 ・嘱託医による定期的な健康診断や相談を通しての医学的アドバイスの享受 ・OT,PT,ST,MTによる専門分野からの支援と情報共有 	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問支援（センター機能強化事業、保育所等訪問支援事業、巡回支援専門員整備事業、障害児等療育支援事業）と連携した情報共有 ・専門職との情報共有やアドバイスの享受は、児発管とグループリーダーが参加し、しっかりと時間確保する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	バス送迎業務と療育支援業務が8：30～16：30と長時間にわたり、保護者との連携時間等が加わると、業務負担過重となり、時間外勤務が生じている。	<ul style="list-style-type: none"> ・バス送迎業務の負担 ・5時間療育の負担 ・時間外の家庭との連携業務 	<ul style="list-style-type: none"> ・添乗業務職員（非常勤）の確保 ・療育時間の短縮（5時間→4時間） ・保護者への理解と周知及び送迎業務の調整
2	7年度から3グループ編成で活動しているが、各部屋の収容にスペースが狭く、1日の利用人数が限られている。	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した施設設備等の計画的な改修 ・グループ内及びグループ間の職員連携時間を確保し、横割り活動等を取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・センターが3グループ制となるのを契機として、グループを解体しての活動も積極的に取り入れていく。 ・児発管を中心としたリーダー会議を定期的にもち、グループ間の連携の時間を確保する。 ・職員研修に、各グループ毎の療育発表を組み込んで、互いの設定療育を参観し意見交換する場を設ける。
3	併行通園先への送迎がほぼ100%であり、保護者が送迎し、その受け渡し時に職員と情報交換する機会は少ない。そのため、保護者連携の時間を設定する必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・働き方改革による保護者会活動の参加への負担 ・保育所等との連携不足 ・療育参観（自由参観日）の設定 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会の廃止に伴い、保護者同士が集う場も少なくなるため、円行事や面談・参観をこれまで以上に設定し、保護者同士の語り合いの場を設ける。

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 つくし園（児童発達センター）

公表日 令和8年 2月 17日

利用児童数 令和8年 1月 9日 53名

回収数 44名

	チェック項目	回答				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	40	3	0	1	・部屋が狭いと思う。 ・活動部屋が幼稚園などに比べると狭いように思いますが、それが子供にとっては落ち着く空間かもしれないですし、よく分かりません。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	33	6	0	5	・おおむね適切であると思われるが、クラスの人数等はあまり把握しておらずわからないままお願いしている状態です。 関わり方や声かけの仕方など、学んで欲しいと思う時がある。 去年にくらべてクラス数も減りましたし、職員の数は、減っていて人手不足なのかと思いますが、先生方は子供にも保護者にも優しく寄り添ってくださいますし、幼稚園とくらべると、子供に対して職員数が多いので個々に対応していただけて助かりました。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	38	3	0	3	みんなそうかは分かりませんが、うちの子供にとっては、わかりやすかったと思います。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	36	5	0	3	・床の隙間等の汚れが気になる。 ・壁や床は経年劣化を感じますが、清潔で心地よい環境だと思います。	
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	38	3	0	3	・関わり方や声かけの仕方などを特性を見ながら学んで欲しい。 ・子供のことをよく分かってくれて、無理のない支援で、子供は園では楽しく過ごしていました。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	40	2	0	2		
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	42	1	0	1	・支援計画書は毎回子供のことをよく見てくれているなと思う内容で、保護者も関わり方の参考になりました。	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	42	1	0	1		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	41	2	0	1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	38	4	0	2	・支援計画書は毎回子供のことをよく見てくれているなと思う内容で、保護者も関わり方の参考になりました。 ・季節ごとに様々な活動が実施されていて、本当にありがたいです。バスに乗って足湯やダイナミックな砂場遊びなど、家庭や保育園ではなかなかできないので。	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	29	7	2	3	・並行通園先は療育利用について理解あると思うが、他の保育園・幼稚園によっては理解が足りない場所があり相談を受けることがある。	
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	43	1	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	42	1	0	1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	39	1	0	2	・参加出来ませんでした。が、されてました。	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	41	2	0	1	・保護者と並走していただきました。 ・毎回ファイルで文章付きのため、いろいろ相談しやすいです。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	40	3	0	1	・いつも急な連絡にも相談に乗ってもらっています。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	41	2	0	1	・先生方から否定されたことは、一度もありませんでした。	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	29	8	2	5	・兄弟がいないのでわかりません。 ・保護者会はなくなりましたが、親子活動やつくし園祭りで交流の場がありました。 ・保護者同士は最初に交流会があったが、きょうだいはなかった。 ・親子活動等兄弟も一緒に参加できるようになって嬉しいが、保護者会自体がなくなったので保護者同士やりとりする機会が極端に減ったのが残念です。	
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	40	2	0	2		
20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	42	2	0	0			

非常時等の対応	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	43	1	0	0	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	41	1	0	2	
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	33	4	2	5	・火災などの避難訓練はされているが、原子力災害時の避難については詳しく知りたい。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	40	3	0	1	・毎日していると思う。
満足度	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	40	3	0	1	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	40	1	2	1	・いつもLINEやTELをすぐ入れてもらって安心してしています。
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	43	0	0	1	・今度はいつ？というくらいつくし園が好きです。 ・先生方、職員、バスの運転手さん皆さんが、会場をもって接して下さるので、子供の分かっていて、つくし園に送ったときは振り返りもせずに入っていきます。とても安心できる場所なんだと思います。 ・好きな先生やお友達がいて、安心して通っています。 ・親も我が子達もつくし園を心の安全基地だと思っていて、何かあればつくし園に行ってリフレッシュしながら毎日の生活を頑張っているのでもありがたいです。
28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	43	1	0	0	・朝は「今日はお休みする」とよく言っていますが、行けば楽しく過ごしています。クリスマス会等、楽しい活動の日は、自分でリュックの準備をすることもありました。 ・つくし園が大好きで登園日ではない日は残念がります。「今日は何遊びなの？」と家でもよく訪ねてきて通園をとても楽しみにしています。 ・つくし園の日は「今日はつくし園？やったー！」と渋ることなく登園してくれます。 ・毎週楽しみにしています。いつもありがとうございます。 ・とても楽しく通っています。 ・つくし園の登園日ではない日は、「えー」と残念がります。	
29	事業所の支援に満足していますか。	41	3	0	0	・いつもありがとうございます。 ・子どもも親も楽しく参加、支援いただいています。いつもありがとうございます。 ・手厚い支援にありがたく感謝しています。 ・今年も通えて良かったです。出来れば来年も通いたいです。 ・食事や着替えなどの生活動作獲得のための支援もありとてもありがたいです。いつもありがとうございます。	

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	つくし園（児童発達センター）			公表日	令和8年 2月17日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・ 体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・利用人数や活動によっては、広い部屋で活動している ・あるものを使って怪我防止に取り組んでいる。 ・利用人数により机の配置をかえている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用人数によって窮屈な日もある時はある。 ・窓付近が危険でありカーテンなどがあればありがたい。 ・動きのある園児も多いため、今の保育室は手狭に感じる。また1日の利用人数を増やすことで、職員の数も多く必要になるため、保育室内に10名以上いると喧嘩な動きができず、窮屈になってしまう。 	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が不足のときは合同療育をするなど工夫している。 ・利用人数や活動に応じて、職員体制をその都度話し合うようにしている。 ・前日に活動内容及び利用人数により職員の配置の検討を行っている。 ・臨機応変に職員配置を見直している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各クラスプラス1人いてくれば余裕が生まれるように感じる。 ・職員が足りない。 ・状況によって、職員が必要なときがある。 	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・準備室を整理し、収納場所を確保する必要がある。 ・避難経路や給食搬入の動線にも配慮する。 ・老朽化しつつある施設の改修や、放課後等サービス事業開始に伴うトイレや活動部屋の増築については、予算化し計画的に進めるとともに、運営基金の積み上げを継続的に実施していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関に段差がある。 ・情報共有がよりできるといい。 ・子どもの高さの手すりがあればよいと思う。 	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・職員全員で隔々までよく清掃している。（清掃しにくいところの清掃用具に工夫が必要） ・目につくものや子どもに合わせて気になる場所は撤去など工夫見られる。 ・視覚的な工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・壁紙や建物が古くなり、リフォームが必要である。 ・トイレなど色々な場所の改修が必要だと思う。 ・遊具等には、長年使用し、劣化しているものもある。 ・清潔ではあるが頻りに修理しなければならない事が増えてきている。 	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・数ヶ月ごとにプレイルームは環境を変え、さまざまな体の使い方や遊具の使い方を経験できるようにしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・部屋が足りない。 	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間の連携が取れておりすぐに聞ける環境がありがたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体で行事の振り返りなどがあれば、来年以降に活かせ、より良い行事を計画することができると思う。 	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ満遍なく、職員が研修を受けられるようにしている。 ・いつも充実した研修をありがとうございます。 ・定期的に職員研修が実施されている。 		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・個人面談で、業務目標や勤務状況などを管理者と情報共有できている。 ・毎日職員で話し合う時間があり、その時に話しができる環境である。 ・随時、職員同士意見を交わしながら業務を行っている。 ・行事ごとに職員室で話がある際にそれぞれの職員が意見を言いやすい環境となっている。 		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・運営協議会の資料を全員で共有し、話し合いの結果を周知し意見交換する時間を設定することが必要である。 	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・研修の時間は確保され、職員も積極的に参加している。 ・定期的に職員研修が実施されている。 ・できるだけ満遍なく、職員が研修を受けられるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修はあるが、内容に問題がある。 	
その他	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・支援プログラムは、骨子はできたが、職員の意見を取り入れ、全員で共有して進める必要がある。 ・発達がバラバラなのクラス分けなので、難しいと思う。 	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者、相談支援専門員、児発管と連絡を図りながら支援計画書を作成している。 ・定期的な面談がありいいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発達がバラバラなのクラス分けなので、難しいと思う。 	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ毎の支援会議の際、様々な支援方法について意見交換ができています。 ・支援会議にて児発管とクラス担任と共通理解を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間で情報共有できたらちっとよいと思う。 	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・全職員が供するのはもちろん、保護者にも旧友してもらおうようにしたい。 	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・発達検査結果を支援会議に使用し、本児の現状を却下つ敵に挿えられるようにする。 ・発達検査の資格所有者の確保と検査器具の充実を予算化して進めている。 		

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>	<ul style="list-style-type: none"> ・5つの領域を設定療育に位置付け、周助と腕も保護者に提示するようにしている。 	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>	<ul style="list-style-type: none"> ・担任を中心に、チーム態勢で療育ができています。 ・クラス毎の話し合いで、活動プログラムを作成している。 	・非常勤職員が、グループ配置にならなかったため、チームでの話し合いに加われなかった。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな素材で手作りし、変化に富んだ教材を用いた活動を実施している。 ・園外での活動を取り入れやすい環境である。 ・活動を計画する前、職員間で話し合っている。 	・個別支援計画に基づいた本人支援の5領域を踏まえた活動であることが重要で、園外療育が日常化してもいけないのでは
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>	<ul style="list-style-type: none"> ・子に応じた活動を自由遊びの時間を利用して、マンツーマン指導を取り入れている。 ・複数人配置を生かして、集団活動をリーダーが進めるとき、他の職員が個別指導をするように工夫している。 	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>	<ul style="list-style-type: none"> ・短時間で簡潔な共有を図っている。 ・バス添乗で全員が揃うことがあまりないので、時間を見つけて共有している。 	・バス添乗や非常勤職員の勤務時間が変異になっているため、があるので、全員揃うのは難しいが、集まって話し合った結果を随時全員で共有できるよう記録簿に記入し、閲覧できるようにする。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>	<ul style="list-style-type: none"> ・気づいたところを伝えてくれる存在に感謝している。 ・毎回、職員間でその日の振り返りを行っている。 	・話し合える時間があるともっと療育が良くなると思う。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>	<ul style="list-style-type: none"> ・個人的なことだが日誌の内容として、課題面の記入方法の工夫をしていきたい。 ・毎回、個人事に日誌に記載している。 	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>		・年3回の面談週間を設けて支援計画の見直し等をしているが、定期的なモニタリングになっているとは言えない。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者には、児童発達管理責任者のほか、担任も参加して、子供の現状と支援の方向性を話し合えるようにしている。 	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>	<ul style="list-style-type: none"> ・幼保連絡会や小学校連絡会で、地域移行支援のための連携をとっている。また、随時関係機関と連携を図っている。 ・市障害福祉課との協議を毎月設け、委託事業の振り返りや自主事業の実施状況を話し合い、今後の方向性を検討している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・もう少し関係機関との情報共有を強化したほうが良いと思う。 ・モニタリングや、担いを計画し、みんなで同じ支援を行うための基盤づくりが必要。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>		・もっと小学校の先生が実感を見学に来てくださるといいと思う。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	<input type="radio"/>		・子ども部会の参加等により、情報交換等を行っている。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	<input type="radio"/>	<ul style="list-style-type: none"> ・療育の質の向上や、子供の安全対策、医療的ケア、虐待防止、BCP関係など、計画的に研修を実施している。 	・各グループの事例検討会など、OJT的な研修も取り入れたケース会議を充実させたい。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	<input type="radio"/>	<ul style="list-style-type: none"> ・代表者が参加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子供部会委員の報告を職員長会でいいのでしてほしい。 ・情報があれば色んな活動に参加したい。
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	<input type="radio"/>		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	<input type="radio"/>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園等との交流はないが、地域の公園を利用する際に重なったタイミングで挨拶程度の交流はある。 	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>	<ul style="list-style-type: none"> ・頻りに園児の変化等お伝えしている。 	・コミュニケーションをもっととれるような場を作りたいと思う。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアレントプログラムは年2、3回行っている。また、機能強化事業にて保護者交流会も数回実施している。 	家族支援の場や研修会を多く設け、色んな情報を聞きたい。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用前の契約にてお伝えしている。 	・契約時の話し合いの内容が分からない。	

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点も踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>		・相談支援専門員からの事前情報及び保護者との面談によるアセスメントを適切に行い計画書を作成している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>		・面談週間や療育参観を設け定期的な相談と、家庭訪問を年度当初に実施し、年間の計画について情報共有を図っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	<input type="radio"/>		・保護者会組織はなくなったが、これまで保護者会が担っていた行事や文集づくりを職員が継続して実施するようにした。 ・年1回親子活動を実施し、保護者同士の交流も含めた体験活動を実施している。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>		・マチコミによる活動内容の周知、Instagramによる園の取り組み、サービス提供書による園児の様子を保護者にお伝えしている。	・保護者に協力してもらった活動や行事の案内は、早めにしたほうが良いと思う。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>			
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	<input type="radio"/>			・行わない理由などが、大人（職員）都合の内容になっている。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>		・月1回ほど訓練がある。	・職員だけの訓練も必要
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>			・詳しくもっと知りたい。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	<input type="radio"/>			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>			・職員だけの訓練も必要
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>		・月1回の話し合いを実施している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>		・定期的に研修を実施している。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	<input type="radio"/>		・身体拘束・虐待委員会を設け、実態把握や事例検討会は行っている。	・身体拘束の定義について職員間で共有し、保護者に誰もが同じように説明できる態勢にまで至っていない。